

目次	
第3回臨時総会報告……………2～3	世界の学校80……………7
パッケージ事業「笑顔」……………4	研究所での学び……………8～9
中村不折絵画寄託……………5	ふるさとの大地P R……………10
2月の研修ガイド……………5	賛助会入会案内……………11
信濃教育会館利用P R……………6	全県研究大会報告……………12
退職校長会との懇談会……………6	100年館の絵……………12



先生方と共に創る信濃教育会 会長と若手幹事との対談

昨年まで全て校長で組織されていた信濃教育会幹事会。今年は二人の若手会員が幹事会に加わり活発な議論がなされています。例年の新春対談に代わり、若い幹事お二人の先生にお話を伺いました。



信濃教育会 武田育夫 会長

信濃小中学校 伊藤真紀さん

□一年間活動してきたの感想は？

お二人とも最初は校長先生方が多くて何を言えばいいか心配していたようでした。会長の「付度なしで言いたいことを言っていよいよ」の言葉に、現場の状況を率直に伝え、自由に発言できたことがよかったようです。

□信濃教育会について今まで知らなかったことや意外だったことは？

伊藤：信教には会員としては入っているけど一緒に何かをやっていくというイメージはあまりありませんでした。一つ事業をするにも多くの先生方のご意見を伺い、いろんなデータに基づいて企画している裏の部分を知ることができました。

才田：何かを決めて下ろしてくるという感覚がありましたが、現場の働きやすさや先生方のキャリアアップについてなど先生方に寄り添って考えていく会なんだということを感じました。



穂高西中学校 才田亘さん

□信濃教育会に期待すること

伊藤：現場とともに創る信濃教育会ということを改めて感じています。一緒にやっていくということの楽しさや授業を創ることの楽しさ、悩むこと自体も面白い、そんなことを伝えていきたいです。

才田：組織を長く続けていくための強さよりも変化させていくということが大事だと思います。信濃教育会の革新的な流れが多方面に広がっていくといいと思います。

□若い先生たちへのメッセージ

才田：この仕事の魅力とかやり甲斐を感じて、自分にとってここが一番楽しいとか、やりこみたいという部分を見つけて頑張れる、考えていることが楽しいなって思えてくるといいですね。

伊藤：自分が受けてきた授業のイメージが強くて授業ってこういうふうにという固定観念がついてきちゃってる。授業の話が学校でもっとできるようになると面白いなって思います。

若い教諭職の方や様々な先生方のご意見をお聞きしながら信州教育を共に創っていきたい、そんな願いがあります。自分たちの求める教育を語り合い、学び合い、仲間とつながる、信濃教育会は会員の皆さんで創る会員のための会です。多くの皆様のご意見、参画、ご参加をお待ちしています。

会員の自主性・主体性を育む事業方針の検証

「行ってよかった」を広げよう きっかけづくり、 仲間づくりのために声をかけ合おう

令和5年度第3回臨時総会が11月28日（火）に信濃教育会館講堂において、各郡市教育会から選出された代議員47名（全代議員50名）の出席のもと開催し7つの協議題について協議され、「会員の自主性・主体性を育む事業方針の検証」をテーマに意見交換がなされた。以下臨時総会の概略を報告する。

【武田会長あいさつ】

○芦田愛菜さんが「『その人のことを信じようと思います』っていう言葉をけっこう使うと思うんですけど『それがどういう意味なんだろう』って考えたときに、その人自身を信じているのではなくて『自分が理想とする、その人の人物像みたいなものに期待してしまっていることなのかな』と感じて」「だからこそ人は『裏切られた』とか『期待していたのに』とか言うけれど、別にそれは『その人が裏切った』とかいうわけではなくて『その人の見えなかった部分が見えただけ』であって、その見えなかった部分が見えたときに『それもその人なんだ』と受け止められる『揺るがない自分がある』というのが『信じられることなのかな』って思ったんですけど」「でも、その揺るがない自分の軸をもつのは凄く難しいじゃないですか。だからこそ人は『信じる』って口に出して、不安な自分があるからこそ、成功した自分だったりとか、理想の人物像だったりにすがりたいんじゃないかと思いました」と言っていた。

○アルフレッド・アドラーも「信用するのではなく、信頼するのだ。信頼とは裏付けも担保もなく相手を信じる。裏切られる可能性があっても相手を信じるのである」と同じことを言っている。

○谷川俊太郎の「信じる」という合唱曲の詞

笑うときには大口あけて おこるときには本気でおこる
自分にうそがつかない私 そんな私を私は信じる
信じることに理由はいらない

地雷をふんで足をなくした 子どもの写真目をそらさずに
黙って涙を流したあなた そんなあなたを私は信じる
信じることでよみがえるいのち

葉末の露がきらめく朝に 何をみつめる小鹿のひとみ
すべてのものが日々新しい そんな世界を私は信じる
信じることは生きるみなもと

と谷川俊太郎も信じる事に理由はいらないと言っている。

○また王陽明は「人の性が善であると信ずることができれば、天下に教化・感化することのできない人は一人もいない」と言っている。

○教育の仕事は「信じること」である。信じるということは「裏切られる」ことも織り込み済みのことである。校長・教頭は先生たちを信じ、先生たちは子どもを信じる。これ以外に教育の場で行うことがあるのだろうか。

【協議Ⅰ】

(1) 令和5年度信濃教育会の事業に対する会員アンケートのまとめ

(2) 令和5年度事業の成果と課題・今後の方向

(3) 信教全県研究大会への参画について

・令和5年度信教全県研究大会参加状況

・令和6年度信教全県研究大会応募状況

※(1)～(3)を一括協議 テーマ「会員の自主性・主体性を育む事業方針の検証」～各事業へ参加が少ない要因と、改善に向けた今後の取組～

○グループ別協議

○全体協議

・教育会の役割としては仲間作りがある。特に小学校の先生は教科性が弱いので近隣の学校であっても自分の専門教科で近くにどんな人がいるのか分からず、そこを知るところから始めていきたい。要望として学事関係職員録に小学校の先生のところに主要免許を載せて欲しいというのがあった。

・きっかけ作り、仲間作りのために校長や教頭が職員の背中をしっかりと押してあげることが重要ではないかと思う。研修などに行った職員は必ず「行ってよかった」となるので、その最初の一步をどう押してあげる

のかが重要。

- ・「行ってよかった」をどう広げるか。1つは、今年の
全県研究大会で上伊那から3校が発表し、その後上伊
那の校長会の中で立候補した校長からよかった点を共
有してもらった。それを受け他の校長も自校でやって
みようかなと繋がっていく。2つ目は、職員会議の中
で「この研修に参加してこんなことを学びました」と
いう時間を設けることが大事なのではないか。
- ・アフタヌーンセミナーについて、時間的に先生たちの
参加が厳しいのではないか。授業を終えて職員室に戻
り一息ついて参加するというような時間の余裕があれ
ば誘いやすい。
- ・教師塾Bについては、下伊那ははじめからオンライン
でやっているので参加しやすく多くの参加者が出席し
効果が出た。参集のものは大事にして、オンラインで
できるものはコロナに関わらずオンラインで開催と呼
びかけていったら良いと思う。また、教師塾Bの1
時間は少し長いように感じるため、教育会長の挨拶な
どを一切やめて、時間にゆとりのない先生達の為にも
コンパクトにしても良いと思う。
- ・仲間をつくっていくことが教育会としてとても重要だ
と思う。仲間を作るうえで校長が丁寧に説明していく
ことが大事だと思う。

【協議Ⅱ】

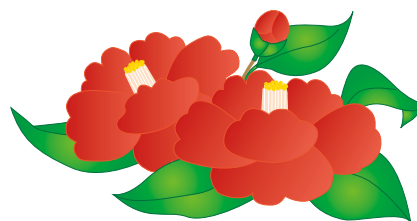
- (4) 令和6年度予算編成方針（収入見込み）
- (5) 第138回信濃教育会総集会北安曇大会基本構想
- (6) 今後の事業について
 - ・産育休者対象セミナー（R5）・教師塾S（R6）
- (7) 信教PVの活用状況と効果について

【報告・連絡】

- (1) 教育研究所の応募状況
- (2) 令和5年度図書教材研究協議会アンケートのまとめ
- (3) 第20回信州“教育の日”について
- (4) 第76回日本連合教育研究大会愛媛大会及び山口大会
参加報告
- (5) 令和6年度教師塾Bについて
- (6) 令和6年度臨地講習・基礎講座の予定
- (7) 出版物（教科書、休み帳等）の採択状況
- (8) 令和5年度第27回教育研究論文・教育実践賞の募集
- (9) 「ふるさとの大地」の案内

【閉会のあいさつ】

- 長野県の信州美術会の会長、米津福祐さん。昭和20年
代後半に上田の小学校に在籍。その当時の担任の先生
は信州自由画運動を推進していた方だった。山本鼎が
提唱した自由画運動というのは、山本鼎が上田の神川
小学校において一番最初に講演を行っている。米津さ
んはその担任の先生の影響があり好きな絵を続けてい
くようになったようである。米津さんの作品のモチー
フは雷電為右衛門。絵を信濃教育会に贈呈したいとい
うことで、3枚の絵を1月の初旬に飾らせていただく
事になった。
- 信濃教育会には、中村不折が佐久間象山を描いた絵が
ある。信濃教育会では絵が劣化していく心配があるた
め、中村不折の母親の出身地である信州高遠美術館に
1月に寄託することになった。1月の後半から同館で
行われる「地域のお宝展」で展示されるのでよろしく
お願いしたい。
- 赤穂中学校での授業において先生と生徒が話し合うと
いう場面を赤羽代議員より紹介いただいた。現在、自
由進度学習と言われているが、子どもが自分のペース
で学習を進めていくためには、どういう授業の展開で
やっていくかということを子どもも知っていないと出
来ないはずだ。つまり、自由進度学習の基本というの
は、単元展開を子どもと先生が共有することである。
そのときに、どういう力を付けるのか、どういう事が
できるようになるのか、評価の基準についても子ども
と共有する、そのことによって子どもが自分で学習を
進めていく。明日伊那東小学校で北川先生が自分で立
候補して授業をされる。評価基準を子どもと共有して
最適化を進めるという事を提案をされる。先程、赤穂
中学校の取り組みについて紹介のあった様に、先生が
すべて学習の計画をもっているという発想を変えてい
かなければならないと感じた。



実年会員対象パッケージ事業『笑顔』

令和6年度より、円熟期を迎えた会員（実年会員）を対象にしたパッケージ事業『笑顔』がスタートします！

『健康』
をサポート！

NEW★講座

教師塾S

～明日も笑顔で～





定年延長及び再任用の先生方が、引き続き信州教育の担い手として活躍していただけるよう、新しく講座を開設します

POINT ①

東北信ブロック・中南信ブロック
それぞれで開催しますので、
お住いの地域から参加しやすい！



POINT ②

50才後半～対象となります
※61才以上の方は優先で受け付けます



新講座 教師塾Sで【こころ】と【からだ】の
健康を楽しく意識してみませんか？

+

『安心』
をサポート！

「死亡・高度障害」及び「会務以外」
の
「入院・通院」の見舞金 **UP**

61才以上【定年延長者・再任用者・講師】対象

見舞金内容	会務以外	
会員年齢	60才以下	61才以上
死亡・高度障害	150万円	200万円 UP!
災害による入院 (1日あたり・最大120日)	5,000円	5,500円 UP!
災害による通院 (1日あたり・最大30日)	3,000円	3,500円 UP!



定年延長並びに再任用となる皆様に引き続き信濃教育会会員として活躍していただけるよう、令和6年度から61歳以上の方の会費を月額500円（5月～12月）にします。併せて、61歳以上の会員の皆様を対象にしたパッケージ事業「笑顔」を始めます。

パッケージ事業「笑顔」には、「健康」をサポートする教師塾S（シニア）と、「安心」をサポートする災害見舞金の増額があります。

多くの61歳以上の教職員の皆様には、信濃教育会会員としてパッケージ事業を活用していただき、日々笑顔でご活躍されることを願っています。

中村不折による佐久間象山肖像画 伊那市信州高遠美術館に寄託・公開へ

大正2年 佐久間象山50年忌にあたり信濃教育会で象山先生50年祭事業を行いました。象山講演会、象山全集の出版、肖像画の制作（中村不折に依頼）などが盛り込まれ一大事業となったようです。象山全集は天皇、皇太子にも献納されました。肖像画は信濃教育博物館に収蔵されていましたが会員の皆様に見ていただく機会に恵まれず110年の時が流れました。

今回、より多くの方に作品を見ていただきたいと願い不折にゆかりのある信州高遠美術館に寄託することとなりました。同館では1月20日（土）からの企画展「地域のお宝展」で展示していただけます。不折が描いた貴重な油彩です。是非この機会にご覧いただければ幸いです。



▲ 不折の作品について話す武田会長と白鳥伊那市長

【**展覧会名**】「地域のお宝展」

【**会 期**】令和 **6** 年 **1** 月 **20** 日（土）～ **2** 月 **25** 日（日）

【**会 場**】信州高遠美術館 第1・第2展示室 伊那市高遠町東高遠400

【**入 場 料**】会期中無料

【**内 容**】伊那市には、中村不折（なかむらふせつ）、池上秀畝（いけがみしゅうほ）、小坂芝田（こさかしでん）などの郷土作家をはじめ、中央や地元で活躍する地域にゆかりのある作家の作品が、市の施設や学校で大切に保管されています。今回、それらの作品の中から、物故作家の作品を中心に選定して展示します。

2月の研修ガイド

3日（土）●第71回教職員バスケットボール大会 ◎諏訪南中学校他4会場 ◇8コートでのリーグ戦 ☆諏訪教育会 0266-52-0213

●**全郡教科等研究まとめの会** ◎郡市内12小中学校※会員のみ参集 ◇下伊那教育会17委員会中14委員会が、委員会独自の【学びの場】を開設。1年間の委員会研究をベースに、希望して参集した会員同士が探究する。オンラインによる講演会 山浦貞一（信州大学特任教授）☆下伊那教育会 0265-52-0808

17日（土）●哲学対話 ◎信州大学教育学部参集及びオンライン ◇「学びと哲学対話」梶谷真司（東京大学大学院教授）☆長野上水内教育会 026-226-2458

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等（講師名敬称略） ☆連絡先

4月から 信濃教育会館が利用しやすくなります

- (1) 使用可能な会議室等は、信濃教育会ホームページにある「会議室予約状況」(2月末にアップする予定)で確認できるようになります。
- (2) 申し込みは、グーグルフォームで送信するか、電話での申し込みとなります。
- (3) 借用申し込みは、年度内は使用日の1ヶ月前までに行います。なお、令和6年度の申し込みは3月1日以降とします。
- (4) 使用料は、信濃教育会員を主とする団体の使用は原則無料です。その他、不明な点は信濃教育会総務部にご相談ください。

※会館利用に関わる情報は、信濃教育会ホームページ「アクセス・館内施設」をご覧ください。



退職校長会との懇談会

12月6日(水)に退職校長会の役員の皆様と懇談会を行いました。働き方改革や教員不足のなか平日に学校を空けることや時間外・休日に研修を行うことができないというお話がありました。信濃教育会の取り組みや課題を報告。自主研修を大事にしてきた先生方や郷土愛・思いやる心の深い子どもたちを育てきた信州教育のよさ、信濃教育会の役割と期待について語られ、熱い懇談会となりました。





マレーシアに住んで

クアラルンプール日本人学校 池田 隼人

令和3年度にマレーシアに派遣されました。コロナ禍でロックダウンの真っ只中での派遣でしたので、かなり緊張した日々が続きました。隔離先のホテルでの生活やか細いWi-Fiで行っていたオンライン授業のことはあまり思い出したくありません。

だんだんと規制が緩和されていき、少しずつ外に出られるようになってくると、街の様子や、どんな国なのか、少しずつ見えてきました。

この3年で私が感じた、マレーシアについてお話しさせていただきます。

①他者の文化に寛容

マレーシアは大きく3つの民族に分かれます。マレー系、中華系、インド系で、それぞれルーツが違います。それぞれの文化がうまく混ざり合い、生活しています。国を挙げてのお祭りもそれぞれの文化が反映されており、日本の祝日とは違ったお休みになります。日本で感じるようなみんな同じ！という連帯感とは少し違い、「相手は文化が違うかもしれない」という前提があります。なので、違うことに対して忌避感がなく、お互いの違いを当たり前を受け入れられています。

かといって、それぞれの文化同士で全く関わりがないというわけではありません。街中では様々な国の料理が食べられ、マレー系と中華系が混ざり合ったニョニャ料理など、美味しい食事につながっているところも魅力の一つです。

②意外と厳しくない？イスラム教

マレーシアはイスラム教が国教です。イスラム教と聞くと、過激派だったり、戒律の厳しさだったり、怖い宗教だというイメージがあると思いますが、実際に現地の方の話を聞くと意外とそうでもないことが分かってきました。豚肉禁止、お酒禁止、とダメなものも多いのですが、人間ですからつい手を出してしまいたくなることもあります。そんな悪いことをしてしまった際には、お祈りの時に神様にきちんと謝れば許してもらえそう。宗教ですから、当然様々な捉え方や信仰の仕方があるので、私の聞いた話が全てではありませんが、この絶妙な緩さが好きです。

この国で体験した寛容さには教員としても一個人としても大きな影響を受けました。マレーシアの日々で感じたことを、これからの教員生活に活かしていきたいです。



マレーシアやインド、中国の伝統衣装を着る「民族衣装デー」があります。



マレーシアと中華料理が合わさったような「ニョニャ料理」



お祈りをするモスクの中は大変美しいです。

テーマ研究会 たのしみは 子どものすてき もちよって みんなと探る あの子の世界	実習 たのしみは 気になるあの子が いきいきと 手作りバイクで 走り出すとき	問い直し 問いは何？ 問うてください 実践を 問うところから 問い直す	刺激 所長から 特任所員 視察など 刺激いっぱい 研究所	リフレクション たのしみは 去年のあの子を ふりかえり 今のあの子に 思い馳せるとき	グルメの視察 たのしみは 視察の計画 立てながら ご当地グルメも 調べているとき
--	--	---	--	--	--

“ 研究所の楽しみ”

研究員が 詠みました

吉田なぎさ 内川舜也 大月美伶 山田潤 石井由里子 佐々木紗知



実践校視察 たのしみは 県も子どもも 違うけど 教師の想いは 変わらないとき	肉体改造 たのしみは 自転車通勤 ももパンパン 仕上げに四階 まで上るとき	対話 たのしみは どんな不安も 語り合い 六人みんな 分かち合うとき	観のアップデート たのしみは 今の教育 問い直し 自分の観が 変わり出すとき	We Love 研究所！ たのしみは ないと思って いた四月 まだまだいたい と思う今	生まれる、つな がる、広がる たのしみは 問いが生まれて つながって また広がって なくならないとき
--	---	--	--	---	--

受賞者より 喜びのコメント

ありがとうございます。
 豪華な賞品は、いりません。
 もう一年、研究所にいらさせてく
 ださい。
 あっ、こことて留年できない
 のでしょうか？
 もっとここで学びたいです。
 …というのが本音ですが、来年
 は現場に戻って、ここでの学び
 を長野県内に、いや、でっかく
 日本中に広めます。
 ありがとうございます★
 ありがとうございます仲間達★



中間報告会決めポーズ(^O^)

『武田会長賞』に輝いたのは…

対話
 たのしみは
 どんな不安も
 語り合い
 六人みんな
 分かち合うとき

受賞、おめでとうございます。
 六人が対話を大切に行っているこ
 とが伝わってきました。
 研究所は、それぞれの不安を楽
 しみに変える場所だということ
 が、多くの人にわかっていただけ
 るのではないでしょうか。
 他の作品もなかなかでしたよ。
 研究所を楽しんでいることが伝わ
 ってきました。



忘れられない この出会い あの言葉



佐伯 胖 所長



人間は、見たいものしか見ていない。子どもは何を知ろうとしているのか？ということに、徹底的に思いを馳せてみよう。

松木 健一 特任所員



過去の事実の意味を捉え直す。過去が変われば現在の立ち位置が変わり未来が変わる。教師は過去を編み直すことができる。

奈須 正裕 特任所員



揃えるのは、やめよう。「今すぐこれができるようにならないといけない」という考え方は、やめよう。

岩川 直樹 特任所員



「どうしようかな」重心は自分。「どうしたいかな」重心は相手。その重心移動があるからこそ相手と共に何かを分かち合える。

高柳 充利 特任所員



その言葉を、どのからだの、どの声が言っているのか。子どもの世界の内側にドボンと入る。

武田 育夫 会長



信州教育とは、先生たち1人1人の情熱と愛情。自由で、使命感とプライドがあり、子ども尊重の精神がある。カッコいいだろう！



"SPECIAL THANKS"



研究所に足を運んでくださり、共に対話を重ねた方々。視察先で、教育理念や思いを熱くお話をしてくださった方々。皆様の生き方、言葉、からだから、たくさんのことを教えていただきました。学んで楽しい。繋がるって嬉しい。そう感じた一年間でした。出会ってくださった全ての人に、心からありがとう。(全ての方の写真を掲載できず、すみません...。)

ふらさとの大地

わくわく みんなと



第27号発刊 購読のご案内

編集 公益社団法人 信濃教育会
発行1月末日 定価 500円(税込)

■ 特集

座談会 生活科・総合的な学習の時間と私 ～根っことなるもの～

【実践事例】

★よいさっ! ほくたちの御柱祭(2年)

★自分たちで活動をつくっていく姿をめざして～地域探検、棚田プロジェクトを通して～(3年)

★三年二部、自分たちのお祭りをしたい!～地域伝統の祭りから願いをもった子どもたち～(3年)

★二年一組のスマイルキラキラまつり(2年)

諏訪市立上諏訪小学校 牛山あゆみ

上田市立豊殿小学校 塩原 講 平

塩尻市立塩尻東小学校 大越みずほ

長野市立昭和小学校 半崎花奈子

【コラム】

★ブペルと35人の物語 by 劇団「ハナビシソウ」(6年)

★150年の歴史、未来へつなぐ～岩村田を知って考える～(4年)

★地域を笑顔に!「松本一本ねぎ」～栽培活動から販売活動を通して～(6年)

★うさぎ大作戦～相手を思いながら自分たちの願いを実現する子どもたち～(2年)

飯田市立上郷小学校 村澤 健 博

佐久市立岩村田小学校 小澤 亜 美

松本市立菅野小学校 高橋 岳

中野市立平野小学校 渋川 里 子

●ご注文は、しんきょうネット各営業所まで

***** FAX でのご注文は、フリーダイヤル 0120-25-1098 *****

北部営業所 TEL.026-284-5541・中部営業所 TEL.0263-47-6629・東部営業所 TEL.0268-23-1152・南部営業所 TEL.0265-81-0361

発行



一般社団法人

信州教育出版社

入会のおすすめ

「信濃教育会賛助会員会」

～退職後も信教とともに学び続けましょう～

長年教職にあり、本県教育文化の向上発展にご尽力くださいましたことに対し、心から敬意を表します。信濃教育会賛助会員会は、長野県教職員として勤務し、退職した方全員が、職種・職階の別なく入会でき、手を取り合って研修に努め、賛助・親睦・助け合いを願って活動している団体です。令和5年度退職または退職予定の先生方には、その意義をご理解いただき、入会くださいますよう心からお願い申し上げます。（なお、退職後、再任用や市町村教育委員会等教育関係機関へ勤務される方は信濃教育会への再入会をお勧めします。）

信濃教育会賛助会員会とは

【会の目的・内容】

信濃教育会・郡市教育会事業への賛助、会員相互の研修親睦、長野県教育の振興発展に寄与

1 長野県教育に関する諸問題の解明と世論の喚起

- ①教育問題検討会（代議員・本部役員で構成）
- ②信教との懇談会
- ③信州“教育の日”（構成団体として参加）

2 地域における生涯学習の環境整備と推進

- ①郡市教育会の事業を賛助
（夏季大、同好会等への参加等）
- ②郡市賛助会員会活動の充実
（地域研修、実技講習、郡市教育会との懇談、会報発行、学校現場へのボランティア等）

3 公益社団法人信濃教育会の事業への賛助

- ①総集会への参加（開催地会員を中心に）
- ②生涯学習センターの運営と活動への賛助
- ③雑誌『信濃教育』『学事関係職員録』の購読、購入促進

4 会員相互の研修・厚生・連絡

- ①総会（講演会・郡市活動報告・会員作品展）
- ②会員名簿発行
- ③会報（年3回発行）
- ④県内研修視察旅行
- ⑤女性会員の集い
- ⑥弔意（弔辞奉呈・会報に弔意掲載）

【会員の資格】

信濃教育会会員だった人、ならびに会の目的に賛同する人

申込みについて

1 入会の申込み

「信濃教育会賛助会員会入会申し込み」はがきを4月1日（月）までに、入会したい郡市の賛助会員会代議員宛てにお出ください。

入会されない場合も必ずお出ください。申し込みはがきおよび郡市賛助会員会代議員名簿等は、後日各人宛てにお届けします。

※なお、信濃教育会事業への賛助ということから雑誌『信濃教育』の購読および『学事関係職員録』の購入募集もあわせていたします。

2 会費

年額 3,000円

3 会費納入方法

後日、振替用紙を送付しますので、郵便局またはコンビニから振り込んでください。

4 会員の特典

- ・本会会報（年3回発行）・会員名簿の送付
- ・県内研修視察旅行への参加
- ・信濃教育会報（総会報告掲載紙）・信濃教育会事業案内の送付
- ・信濃教育会主催の講演会・講座への参加（無料）



研修視察旅行(安曇野)

研究区分	公開日	研究校・研究者（グループ）	共同研究者
個人	10月27日	屋代遊学会（屋代中）	村瀬 公胤 麻布教育研究所所長
学校	10月31日	駒ヶ根市立赤穂中学校	高柳 充利 信州大学准教授
個人	11月2日	小林英成（伊那小）	苫野 一徳 熊本大学准教授
学校	11月8日	長野市立城東小学校	岩川 直樹 埼玉大学教授
学校	11月9日	上田市立北小学校	早坂 淳 長野大学教授
学校	11月10日	長野市立三本柳小学校	岡野 昇 三重大大学教授
個人	11月13日	小林勝俊（木曽町中）	植原 俊晴 信州大学助教
学校	11月14日	長野市立信更小学校	大畑 健二 信州大学准教授
個人	11月16日	熊谷 光（大町西小）	岩川 直樹 埼玉大学教授
学校	11月17日	上田市立第一中学校	松木 健一 福井大学副学長
個人	11月17日	川口 純（阿智第一小）	藤田 育郎 信州大学准教授
学校	11月29日	軽井沢町立軽井沢東部小学校	苫野 一徳 熊本大学准教授
個人	11月29日	北川裕之（伊那東小）	佐藤 和紀 信州大学准教授
個人	11月30日	塚田 巧（御代田南小）	八木雄一郎 信州大学准教授
個人	11月30日	小林一輝（開田小）	伊藤 純郎 筑波大学名誉教授

参加人数（延べ数）：363名 役員：76名 【参加総数：439名】

信濃教育

予告

信濃教育
2月号
特集

我が校の授業研究

二年生に「波田のお宝」と題して波田地区の重要な建造物や文化財を表現させています。絵の背景となる波田の人々の思いが込められるように描いてみようと呼びかけています。
浅賀君が描いた上高地線の電車ですが、波田地区と松本駅を結んでいる重要な路線です。
一〇〇年を超える歴史があり、波田の文化を支えています。波田駅の手前

を『ガタ・ゴト』と音を立てながら、桜がきれいに咲いた下を、こちらに迫ってくる様子を見事な筆遣いで描いています。駅に止まるために停車の準備をしているということはこの画題をつけています。病院が描かれている背景を暗くして、電車にスポットを当てていることも素晴らしい描写だと思えます。

指導者
久保田一夫（波田中学校）

100年館の絵

令和4年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「停車」

浅賀 一輝（波田中2年）

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026(232)2470
URL <https://shinkyo.or.jp> ✉ shinkyo@shinkyo.or.jp
編集兼発行人／武田 育夫

